

様式第11号(第9条関係)

実績報告書

平成18年10月19日

市川市長

団体名 市川市視覚障害者福祉会
代表者名 水落み子
所在地 市川市押切14-5
電話 (358)0688

平成18年7月4日付け 市川第20060630-0174号をもって交付決定のあった市川市市民活動団体支援金に係る実績報告について、市川市納税者が選択する市民活動団体への支援に関する条例第15条第1項の規定により、提出します。

記

1. 事業費総額 69,093 円

2. 交付決定額 34,491 円

3. 添付書類

- (1) 支援決定事業収支決算書(様式第12号)
- (2) その他市長が必要と認める書類



[事業報告書]

事業の名称 視覚障害者を理解できる市民との交流会

実施時期 平成 18 年 9 月 12 日 (火) 午後 1 時～3 時 30 分

実施場所等 市川市男女共同参画センター 7 階ホール

事業内容 (目的・経過等)

視覚障害者福祉会では自立と社会参加及び会員相互の親睦を図るために、声の会報 (テープ) の作成・点字講習会・各種サークルを開催しています。サークルは社交ダンス・フォークダンス・卓球・ヨガ・手芸・将棋・カラオケ等多岐にわたって毎月 1～2 回開催され、ボランティアも多数参加して、運動不足の解消や市民との交流を図っています。

今年度の事業では、視覚障害者の日常生活を知っていただくために、第 1 部として日常用具や手芸作品、サークル活動の写真などを展示しました。携帯用の点字板や音声電卓、目盛りが浮き彫りになっている物差しや巻尺等の日常用具、角に点字が打たれているトランプやマージャンの牌、枠で仕切っている将棋盤などが展示され、会場を訪れた市民から驚きと感心する声があがっていました。

第 2 部は視覚障害の吉井一夫・まり子夫妻の津軽三味線の実演とトーク。

「津軽三味線と二人の人生」と題して、視覚障害者への偏見や子育ての苦労など二人三脚で乗り越えてきた日々を、津軽三味線を弾きながら楽しく話ってくださいました。お二人の愛情が伝わってくる素晴らしいトークでした。

事業結果 (成果・課題等)

当会会員をはじめ松戸市や木更津市などから参加した視覚障害の仲間・ちらしや広報での呼び掛けで参加して下さった多くの市民で当日の入場者は 98 名でした。日常用具や手芸の作品を手に取り、サークル活動の写真を見て、そして、吉井夫妻のトークから、私たちの日常生活を少しでも理解していただけたのではないかと思います。もっと多くの市民の理解と協力を得られるよう、これからも「市民との交流」を図っていきたいと思います。

支援決定事業収支決算書

事業の名称: 視覚障害者を理解できる市民との交流会

1. 【収 入】

(単位: 円)

項目	金額	説明 (積算等)
補助金	34,491	市川市市民活動団体支援金
会費収入	34,602	市川市視覚障害者福祉会からの会費
合計	69,093	

2. 【支 出】

(単位: 円)

項目	金額	説明 (積算等)
講師謝金	40,000	津軽三味線ヒューズ出演者、吉井夫妻への謝礼
会場使用料	4,080	男女共同参画センター7階ホール及び控室
設営費	3,000	卓上挿花
消耗品等	3,217	5r(用紙代、展本用字真代等)
昼食代	3,696	スタッフ7名食・お茶代
交通費	12,000	ボランティアスタッフの交通費 12人分
雑費	3,000	講師用駐車料金(村上パーキング 10-724)
合計	69,093	

※ 領収書を添付してください。